

12/23(月)の発表



報道発表資料の配付日時

12/23(月) 15時00分

発表項目 (行事名)	(速報) 感染性胃腸炎患者等の発生について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施場所) 月 日 () 時 分~	発表者	
		発表場所	
概要	<p>○詳細については別紙のとおり</p> <p>◆速報 (感染性胃腸炎 (5類感染症) の集団発生について速報するもの)</p> <p>北見保健所 介護保険施設 17名、ノロウイルス・・・別紙1</p> <p>帯広保健所 介護保険施設 14名、ノロウイルス・・・別紙2</p>		
参考			

報道(取材) に当たっての お願い	<p>本公表は、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第16条の規定に基づき、個人情報の保護に留意の上、感染症の発生状況等に関して必要な情報を公表するものです。 つきましては、報道に当たって、個人のプライバシー等の保護のため特段のご配慮をお願いします。</p>		
他のクラブ との関係	同時配布 同時レク	(場所)	北見、帯広保健所

担当 (連絡先)	<p>保健福祉部健康安全局地域保健課感染症・特定疾患グループ (担当:角)</p> <p>電話 (代 表) 011-231-4111 (内線25-506)</p> <p>(ダイヤルイン) 011-204-5253</p>		
-------------	---	--	--

感染性胃腸炎患者等の発生について

令和元年（2019年）12月23日（月）15:00

北海道保健福祉部健康安全局地域保健課
TEL 011-231-4111（内線：25-506）
FAX 011-232-2013

令和元年（2019年）12月23日（月）、北見保健所管内の介護保険施設において、感染性胃腸炎患者及びその疑いのある者の発生を確認しました。

記

1 探知

令和元年（2019年）12月19日（木）に、北見保健所管内の介護保険施設から、複数の利用者及び職員が発熱、おう吐、下痢等の症状を呈している旨、保健所に通報があった。

2 発生の概要

北見保健所管内の介護保険施設の利用者13名及び職員4名の計17名が、12月6日（金）から12月19日（木）にかけて、発熱、おう吐、下痢等の症状を呈し、5名が医療機関を受診し、検査及び治療を受けた。（うち1名が入院した。）

3 現在の症状

12月23日（月）現在、有症者は回復もしくは快方に向かっている。
入院していた1名は、回復し既に退院した。

4 経過

12月6日（金）	～	19日（木）	発熱、おう吐、下痢等の有症者発生
7日（土）	～	19日（木）	有症者のうち8名の便を検査した結果、3名からノロウイルスが検出された。
19日（木）			介護保険施設から保健所に通報

5 感染経路

現在調査中

6 対応

北見保健所では、当該介護保険施設に対し、利用者及び職員の健康状況の把握、手洗いの励行及び施設内の消毒、清潔保持等、感染防止対策について指導を行った。

7 その他

この件については、本日15時00分、北見保健所においても、資料配付を行っています。
＜報道に当たっては、個人のプライバシー等の保護のため特段の御配慮をお願いします。＞

ノロウイルスとは

ノロウイルスとは、世界中に広く分布し、急性胃腸炎の原因の一つとなるウイルスである。
ノロウイルスの人への感染は、ウイルスに汚染された飲食物を口にすることや、感染者との接触等による二次感染によって起こり、主に11月から3月に集中して発生するが、一年を通して発生がみられる。

主 症 状：吐き気、おう吐、腹痛、下痢、発熱（軽度）

潜 伏 期 間：24～48時間

経 過 ・ 予 後：通常3日以内で回復、予後は良好

【道内の集団感染性胃腸炎の発生状況（ロタウイルス除く） 12月23日（月）現在】

	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
件数（件）	206	210	138	150	179	182	137	120
有症者数（人）	4,987	4,878	3,004	3,638	4,465	4,341	2,849	2,467

*政令市（札幌市を除く）保健所分を含む。

*定点医療機関からの感染性胃腸炎患者報告数については、北海道立衛生研究所北海道感染症情報センター

感染性胃腸炎患者等の発生について

令和元年(2019年)12月23日(月)15:00

北海道保健福祉部健康安全局地域保健課
TEL 011-231-4111 (内線:25-506)
FAX 011-232-2013

令和元年(2019年)12月20日(金)、帯広保健所管内の介護保険施設において、感染性胃腸炎患者及びその疑いのある者の発生を確認しました。

記

1 発生の探知

令和元年(2019年)12月19日(木)に、帯広保健所管内の介護保険施設から、複数の利用者及び職員がおう吐、下痢、腹痛等の症状を呈している旨、保健所に通報があった。

2 発生の概要

帯広保健所管内の介護保険施設の利用者8名及び職員6名の計14名が、12月16日(月)から12月22日(日)にかけて、おう吐、下痢、腹痛等の症状を呈し、うち6名が医療機関を受診し、治療を受けた。(入院をした者はいない。)

3 現在の状況

12月23日(月)現在、症状は回復もしくは快方に向かっている。

4 経過

12月16日(月)～12月22日(日) おう吐、下痢、腹痛等の有症者発生
12月19日(木) 介護保険施設から保健所に通報
12月18日(水)～12月20日(金) 医療機関及び保健所において、有症者3名を検査した結果、3名全員からノロウイルスを確認

5 感染経路

現在調査中

6 対応

帯広保健所では、当該介護保険施設に対し、利用者及び職員の健康状況の把握、手洗いの励行及び施設内の消毒、清潔保持等、感染防止対策について指導を行った。

7 その他

この件については、本日15時00分、帯広保健所においても資料配付を行っています。報道に当たっては、個人のプライバシー等の保護のため特段の御配慮をお願いします。

ノロウイルスとは

ノロウイルスとは、世界中に広く分布し、急性胃腸炎の原因の一つとなるウイルスである。ノロウイルスの人への感染は、ウイルスに汚染された飲食物を口にすることや、感染者との接触等による二次感染によって起こり、主に11月から3月に集中しているが、一年を通して発生がみられる。

主 症 状：吐き気、おう吐、腹痛、下痢、発熱（軽度）

潜伏期間：24～48時間

経過・予後：通常3日以内で回復、予後は良好

【ノロウイルスによる道内の集団感染性胃腸炎の発生状況 12月23日(月)現在】

	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
件数(件)	206	201	138	150	179	182	137	120
有症者数(人)	4,987	4,878	3,004	3,638	4,465	4,341	2,849	2,467

*政令市(札幌市を除く)保健所分を含む。

*定点医療機関からの感染性胃腸炎患者報告数については、北海道立衛生研究所北海道感染症情報センターホームページにて公開しています。(http://www.iph.pref.hokkaido.jp/kansen/index.html)